

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第2学年	類型	Ⅱ型
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
補助教材	クリアー 数学Ⅱ+B+C（数研出版）						

学習目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を培うとともに、それらを活用する態度を養います。</p>
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 式と証明	<p>整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにします。</p>	中間考査
	5月	第1節 式と計算		
	6月	第2節 等式・不等式の証明	<p>方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数までに拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにします。</p>	期末考査
	7月	第2章 複素数と方程式		
2 学期	8月	第3章 図形と方程式	<p>座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。</p>	中間考査
	9月	第1節 点と直線		
	10月	第2節 円		
	11月	第3節 軌跡と領域	<p>角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。</p>	期末考査
	12月	第4章 三角関数		
	3 学期	1月	第1節 三角関数	<p>指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。</p>
2月		第2節 対数関数		
3月		第6章 微分法と積分法	<p>微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。</p>	
3月		第1節 微分係数と導関数		
3月	第2節 関数の値の変化			
3月	第3節 積分法			

学習の方法	<p>日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。</p>
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	<p>基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。</p>	<p>事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。</p>
評価方法	<p>評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。</p>		